

福井県港湾整備事業(港湾整備事業特別会計)経営見通し

団 体 名 : 福井県

事 業 名 : 港湾整備事業

策 定 日 : 令和 8 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 8 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

我が国は島国であり、輸出入貨物量の99.6%は海上輸送貨物として港湾を経由しており、その機能強化は全国的な課題となっています。

本会計は、地方自治法第209条第2項の規定により設置し、福井県港湾施設管理条例に掲げる港湾施設の整備事業について、円滑な運営を行っています。

現在は、荷さばき地、野積場、上屋、荷役機械などの港湾施設を提供しています。

(1)事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非 適	事 業 開 始 年 月 日	昭和45年4月1日
職 員 数	13 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	重要港湾:敦賀港 地方港湾:福井港、内浦港 和田港
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	敦賀港、福井港:港湾施設点検業務等(荷役機械など)	
	イ 指定管理者制度	和田港:和田港若狭和田マリーナ運営業務	
	ウ PPP・PFI	-	

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

使用料体系の概要・考えの方		福井県港湾施設管理条例の規定を適用しています。							
施設区分	使用料区分	現行(a)	改定年	前回(b)	改定年	改定率(a/b)%	前々回(c)	改定年	改定率(b/c)%
野積場	舗装	66円/㎡・月	R1	64.8円/㎡・月	H26	101.9 %	63円/㎡・月	H9	102.9 %
	未舗装	33円/㎡・月	R1	32.4円/㎡・月	H26	101.9 %	31.5円/㎡・月	H9	102.9 %
	鞠山南コンテナターミナル	101.2円/TEU・日	R1	99.36円/TEU・日	H26	101.9 %	96.6円/TEU・日	H22新設	102.9 %
貯木場	2号・4号・5号	30.8円/㎡・月	R1	30.24円/㎡・月	H26	101.9 %	29.4円/㎡・月	H9	102.9 %
上屋 (敦賀、福井のみ)	F上屋	468.6円/㎡・月	R1	460.08円/㎡・月	H26	101.9 %	447.3円/㎡・月	H9	102.9 %
	H上屋	451円/㎡・月	R1	442.8円/㎡・月	H26	101.9 %	430.5円/㎡・月	H9	102.9 %
	I上屋	374円/㎡・月	R1	367.2円/㎡・月	H26	101.9 %	357円/㎡・月	H9	102.9 %
	J上屋	968円/㎡・月	R1	950.4円/㎡・月	H26	101.9 %	924円/㎡・月	H9	102.9 %
	1号上屋	718.3円/㎡・月	R1	705.24円/㎡・月	H26	101.9 %	685.65円/㎡・月	H9	102.9 %
	鞠山南CFS上屋	605円/㎡・月	R1	594円/㎡・月	H26	101.9 %	577.5円/㎡・月	H25新設	102.9 %
	北1号	825円/㎡・月	R1	810円/㎡・月	H26	101.9 %	787.5円/㎡・月	H9	102.9 %
	北2号	676.5円/㎡・月	R1	664.2円/㎡・月	H26	101.9 %	645.75円/㎡・月	H9	102.9 %
荷役機械	多目的(鞠山北)	66,550円/h	R1	65,340円/h	H26	101.9 %	63,525円/h	H9	102.9 %
	コンテナ専用(鞠山南)	72,600円/h	R1	71,280円/h	H26	101.9 %	69,300円/h	H9	102.9 %
	コンテナ専用(川崎・松栄)	70,400円/h	R1	69,120円/h	H26	101.9 %	67,200円/h	H9	102.9 %
電気施設	冷凍用コンセント	105.6円/h	R1	103.68円/h	H26	101.9 %	100.8円/h	H22新設	102.9 %
管理施設	鞠山南管理棟	2,200円/㎡・月	R1	2,160円/㎡・月	H26	101.9 %	2,100円/㎡・月	H22新設	102.9 %
棧橋・船揚場 (ディングー型ヨット)	一隻・日につき	2,090円/日	R7	1,870円/日	R1	111.8 %	1,836円/日	H26	101.9 %
	一隻・月につき	10,670円/月	R7	9,350円/月	R1	114.1 %	9,180円/月	H26	101.9 %
	一隻・年につき	106,700円/年	R7	93,500円/年	R1	114.1 %	91,800円/年	H26	101.9 %
棧橋・船揚場 (モータボート等) 艇長5m未満	一隻・日につき	4,290円/日	R7	3,740円/日	R1	114.7 %	3,672円/日	H26	101.9 %
	一隻・月につき	21,450円/月	R7	18,700円/月	R1	114.7 %	18,360円/月	H26	101.9 %
	一隻・年につき	214,500円/年	R7	187,000円/年	R1	114.7 %	183,600円/年	H26	101.9 %
棧橋・船揚場 (モータボート等) 艇長5m以上6m未満	一隻・日につき	4,840円/日	R7	4,290円/日	R1	112.8 %	4,212円/日	H26	101.9 %
	一隻・月につき	24,640円/月	R7	21,450円/月	R1	114.9 %	21,060円/月	H26	101.9 %
	一隻・年につき	246,400円/年	R7	214,500円/年	R1	114.9 %	210,600円/年	H26	101.9 %
棧橋・船揚場 (モータボート等) 艇長6m以上7m未満	一隻・日につき	5,610円/日	R7	4,950円/日	R1	113.3 %	4,860円/日	H26	101.9 %
	一隻・月につき	28,380円/月	R7	24,750円/月	R1	114.7 %	24,300円/月	H26	101.9 %
	一隻・年につき	283,800円/年	R7	247,500円/年	R1	114.7 %	243,000円/年	H26	101.9 %
棧橋・船揚場 (モータボート等) 8m以上	8mを超える艇長1m まで毎に加算	2,090円/日	R7	1,870円/日	R1	111.8 %	1,836円/日	H26	101.9 %
		10,670円/月	R7	9,350円/月	R1	114.1 %	9,180円/月	H26	101.9 %
		106,700円/年	R7	93,500円/年	R1	114.1 %	91,800円/年	H26	101.9 %
駐車場 (自動二輪等)	一台・日につき	660円/日	R1	648円/日	H26	101.9 %	630円/日	H9	102.9 %
	一台・月につき	3,300円/月	R1	3,240円/月	H26	101.9 %	3,150円/月	H9	102.9 %
	一台・年につき	33,000円/年	R1	32,400円/年	H26	101.9 %	31,500円/年	H9	102.9 %
駐車場 (普通自動車等)	一台・日につき	1,320円/日	R1	1,296円/日	H26	101.9 %	1,260円/日	H9	102.9 %
	一台・月につき	6,600円/月	R1	6,480円/月	H26	101.9 %	6,300円/月	H9	102.9 %
	一台・年につき	66,000円/年	R1	64,800円/年	H26	101.9 %	63,000円/年	H9	102.9 %
駐車場 (その他)	一台・日につき	2,640円/日	R1	2,592円/日	H26	101.9 %	2,520円/日	H9	102.9 %
	一台・月につき	13,200円/月	R1	12,960円/月	H26	101.9 %	12,600円/月	H9	102.9 %
	一台・年につき	132,000円/年	R1	129,600円/年	H26	101.9 %	126,000円/年	H9	102.9 %
給水施設	一基・回につき (1回あたり30分)	264円/回	R1	259.2円/回	H26	101.9 %	252円/回	H9	102.9 %
	一基・月につき	6,600円/月	R1	6,480円/月	H26	101.9 %	6,300円/月	H9	102.9 %
	一基・年につき	66,000円/年	R1	64,800円/年	H26	101.9 %	63,000円/年	H9	102.9 %
給電施設	一基・回につき (1回あたり1時間)	264円/回	R1	259.2円/回	H26	101.9 %	252円/回	H9	102.9 %
	一基・月につき	6,600円/月	R1	6,480円/月	H26	101.9 %	6,300円/月	H9	102.9 %
	一基・年につき	66,000円/年	R1	64,800円/年	H26	101.9 %	63,000円/年	H9	102.9 %
シャワー室	一人・回につき (1回あたり10分)	264円/回	R1	259.2円/回	H26	101.9 %	252円/回	H9	102.9 %
船具保管庫	一個につき	3,190円/月	R1	3,132円/月	H26	101.9 %	3,045円/月	H9	102.9 %
	一個につき	31,900円/年	R1	31,320円/年	H26	101.9 %	30,450円/年	H9	102.9 %
給油施設		74.8円/L	R1	73.44円/L	H30新設	101.9 %	-		- %

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

年間取扱貨物量 ※ 過去3年分を記載	R4 敦賀港 16,714千t 福井港 1,258千t 他2港※ 51千t	R5 敦賀港 16,837千t 福井港 1,259千t 他2港※ 97千t	R6 敦賀港 18,414千t 福井港 1,370千t 他2港※ 153千t
年間船舶乗降旅客数 ※ 過去3年度分を記載	R4 —	R5 —	R6 —
年間使用料収入額 (税 込 み) ※ 過去3年度分を記載	R4 敦賀港 315,236,252円 福井港 112,047,668円 他2港※ 14,124,513円	R5 敦賀港 304,197,422円 福井港 105,973,311円 他2港※ 14,764,369円	R6 敦賀港 350,390,915円 福井港 103,666,527円 他2港※ 16,298,139円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※ 過去3年度分を記載	R4 51.6%	R5 35.7%	R6 53.7%
経費回収率 ※ 過去3年度分を記載	R4 51.6%	R5 35.7%	R6 53.7%
他会計補助金比率 ※ 過去3年度分を記載	R4 45.6%	R5 64.3%	R6 46.2%
企業債残高対 料金収入比率 ※ 過去3年度分を記載	R4 2969.9%	R5 3173.8%	R6 2981.7%

【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

年間取扱貨物量

敦賀港の貨物量は、令和5年11月に鞠山南国際ターミナルが拡張・供用開始したことなどにより令和6年は過去最高となりました。

福井港は概ね130万tで推移していますが減少傾向です。内浦港はロシア情勢の影響を受け減少しています。

経費回収率＝営業収益/(営業費用+営業外費用+地方債償還金)

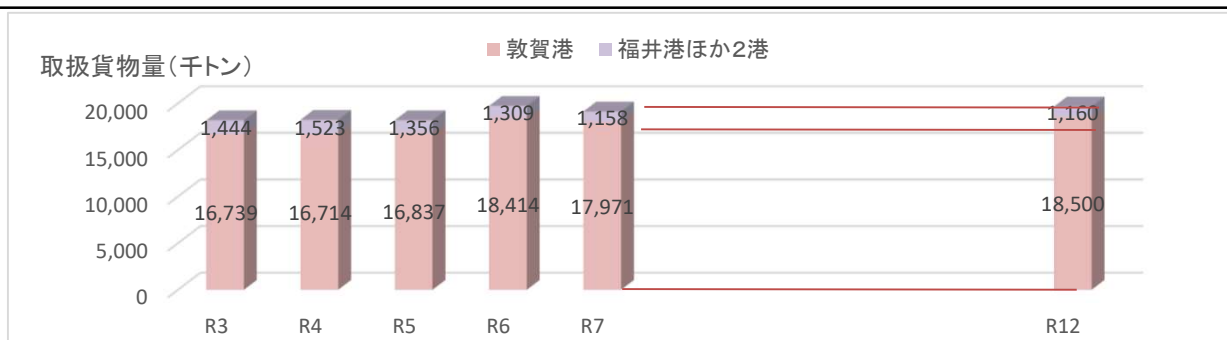
他会計補助金比率＝繰入金/(総費用+地方債償還金)

※他2港：内浦港、和田港

2. 将来の事業環境

(1) 取扱貨物量の見通し

敦賀港の取扱貨物量は、令和5年11月に鞠山南国際ターミナルが拡張・供用開始したことから、令和6年には過去最高の18,414千トンとなっています。今後の取扱貨物量も堅調に推移することが予想されます。福井港の取扱貨物量は近年1,300千トン前後の取扱いになっていますが、今後の取扱貨物量は、令和7年度途中より石炭輸入がなくなることから減少すると予想されます。内浦港はロシア情勢が不透明なことから低調に推移するものと予想されます。



※R1までは実績値

(2) 使用料収入の見通し

使用料収入は概ね横ばいに推移していくことが予想されます。

<敦賀港>

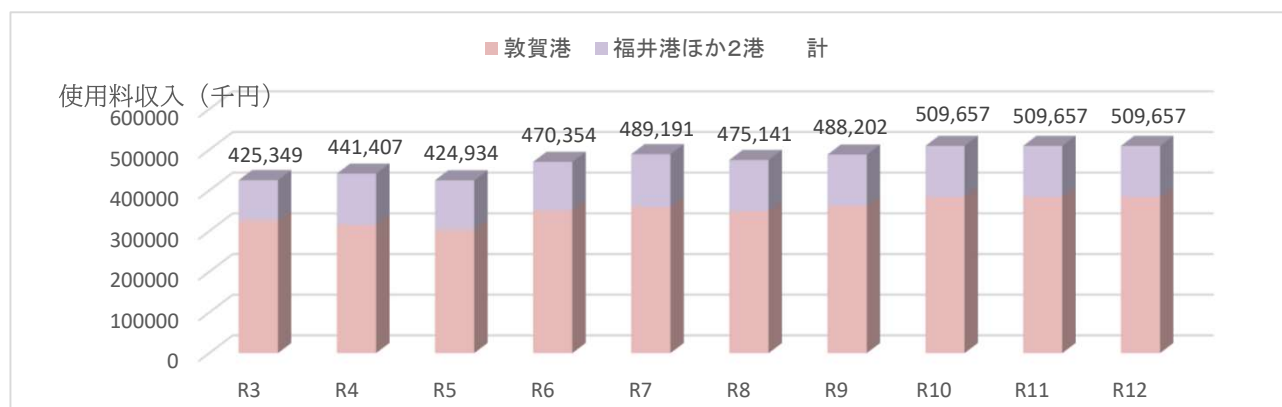
鞠山南地区のふ頭用地拡大後、野積場収入が増加することが見込まれます。

<福井港>

過去5年は横ばいでした。今後の使用料収入については、取扱貨物量をポートセールスなどで維持できれば、横ばいに推移する可能性があります。

<他2港>

内浦港はロシア情勢が不透明であることや、和田港は利用状況に大きな増減がないことから低調に推移するものと予想されます。



(3) 施設の見直し

<p><敦賀港> 敦賀港の港湾計画に基づき、ふ頭整備等を実施していきます。</p> <p><福井港、内浦港、和田港> 港湾整備事業特別会計の対象となる施設の新設予定はありません。</p> <p><4港共通> 財源に限りがあるため、維持管理等の費用について平準化を図るため、施設の利用状況、劣化状況等を踏まえて、必要性・緊急性の優先順位をつけながら、更新、修繕、長寿命化などを行っていきます。</p>

(4) 組織の見直し

敦賀港の管理は福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所、福井港の管理は福井県福井港湾事務所、内浦港および和田港の管理は福井県嶺南振興局小浜土木事務所が所管しています。事業量に応じた適正な人員配置に努めていきます。

3. 経営の基本方針

<p><敦賀港> 敦賀港港湾計画および敦賀港長期構想に基づき、ふ頭用地や荷役機械の整備などにより機能強化を図るとともに、地元関係者と連携したポートセールスを実施していきます。</p> <p><福井港> 福井港港湾計画および福井港港湾振興ビジョンに基づき、地元関係者と連携したポートセールスを実施していきます。</p> <p><4港共通> 適切な機能確保、施設の長寿命化を図ることで維持管理費の平準化を図っていきます。</p>
--

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	
	<敦賀港> 取扱貨物の需要に応じて適切にふ頭用地造成および荷役機械整備を行っていきます。
	<4港共通> 長寿命化計画に基づき、日常点検および維持修繕などにより施設の長寿命化を図っていきます。

計画期間内に実施する主な投資内容

敦賀港：日本海有数の取扱貨物量を誇ることから一層の機能強化を図っていきます。

- ・ 鞠山北多目的クレーン整備(令和3年度～7年度：予定)
- ・ 鞠山南地区複合一貫輸送ターミナル整備【埋立】(令和5年度～10年度：予定)
- ・ 鞠山南ガントリークレーン整備(令和5年度～8年度：予定)

4港共通

- ・ 老朽化対策
長寿命化計画に基づき、老朽化対策を図っていきます。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	
	安定した料金収入の確保や、将来の地方債償還金が過度とならないよう経営の健全性を確保した財源構成としていきます。

使用料収入は、港湾施設の利用状況に変化がないことから、横ばいに推移するものと見込んでいます。

地方債は、建設改良費の財源に充てるものとします。

地方債償還金および地方債支払利子に充当する料金収入が不足する場合は、財政当局と協議調整の上、一般会計からの繰入金計上していきます。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

施設保守点検業務など県内港湾の適正な管理運営を行うため、必要な経費を確保していきます。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	港湾の管理運営を効率的に行うため、和田港若狭和田マリーナについては、引き続き、指定管理者制度の活用等を行っていきます。
投資の平準化	敦賀港については国内外の社会経済情勢に応じた事業を計画的に進めます。 敦賀港を含めた県内4港湾において、維持管理計画に基づき、既存施設の老朽化対策を進めることで投資の平準化を行っていきます。
その他の取組	—

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	受益者負担を原則としつつ、他県港湾とのバランスを考慮した料金を設定していきます。
企業債	<敦賀港> 計画的な港湾整備に努めて起債を行っていきます。 <福井港、内浦港、和田港> 当面、新たな起債は予定していません。
繰入金	地方債償還金および地方債支払利子に充当する料金収入が不足する場合は、財政当局と協議・調整の上、一般会計からの繰入金を財源としていきます。
資産の有効活用等による収入増加の取組	ポートセールスなどにより港湾施設の利用促進を図っていきます。
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	施設保守点検業務の効率化に向けた取組を行っていきます。
管理運営費	港湾施設の日常点検および維持修繕を実施し、運営費の低減に努めるとともに、効率的な管理運営方法について検討していきます。
職員給与費	引き続き県職員が特会事務を行います。
その他の取組	なし

5. 事後検証、改定等に関する事項

事後検証 改定等に関する事項	毎年度、収支計画に基づき、決算結果をもとに進捗状況を管理するとともに、港湾施設の使用状況、港湾を取り巻く社会経済状況を踏まえながら、概ね5年毎に見直しを行っていきます。
-------------------	--

